

図1. ヘッドコイル(デフォルト接続状態) 図2. トップコイル部分の安置例

1. 被験者に寝台上に横になってもらう前に、コイルの左右のハンドル部分をもってロックを外し、上の部分(トップコイル)を取り外す。(図1)
2. 底部の接続部品が損耗しないように柔らかい布／毛布を敷いた上に置く。(図2)
3. 被験者にベース部分のくぼみに頭を置くように仰向けになってもらい、その上からトップコイルを静かに重ねる。接続部のロックがかかる音がすることを確認する。
4. スキャナ使用後は元の状態（ベース部分に接続）に戻しておく。
5. 実験終了後は寝台とコイルのコネクタを抜いて、端子にキャップをつける。(図3)
(低電圧であるものの、コイルに電圧がかかり続けるため)



図3. 付属ヘッドホン



図4. イヤーマフ



図5. 付属ヘッドホンの接続状況

- ・ 音声提示を伴わない実験では通常、鼓膜の保護と頭部の固定のためにスキャナ付属のヘッドホン（図3）もしくはイヤーマフ（図4）を被験者に装着してもらう。
- ・ 付属ヘッドホンのケーブルはヘッドコイル脇のソケットにつなぐ（図5）。これにより、操作室とのコミュニケーションに使用可能である（オペレータ用マイクへの入力音声被験者に聞こえる）。
- ・ 不織布カバーを被験者1名につき1セット使用する



図8. スキャナ・寝台操作ボタンパネルの位置

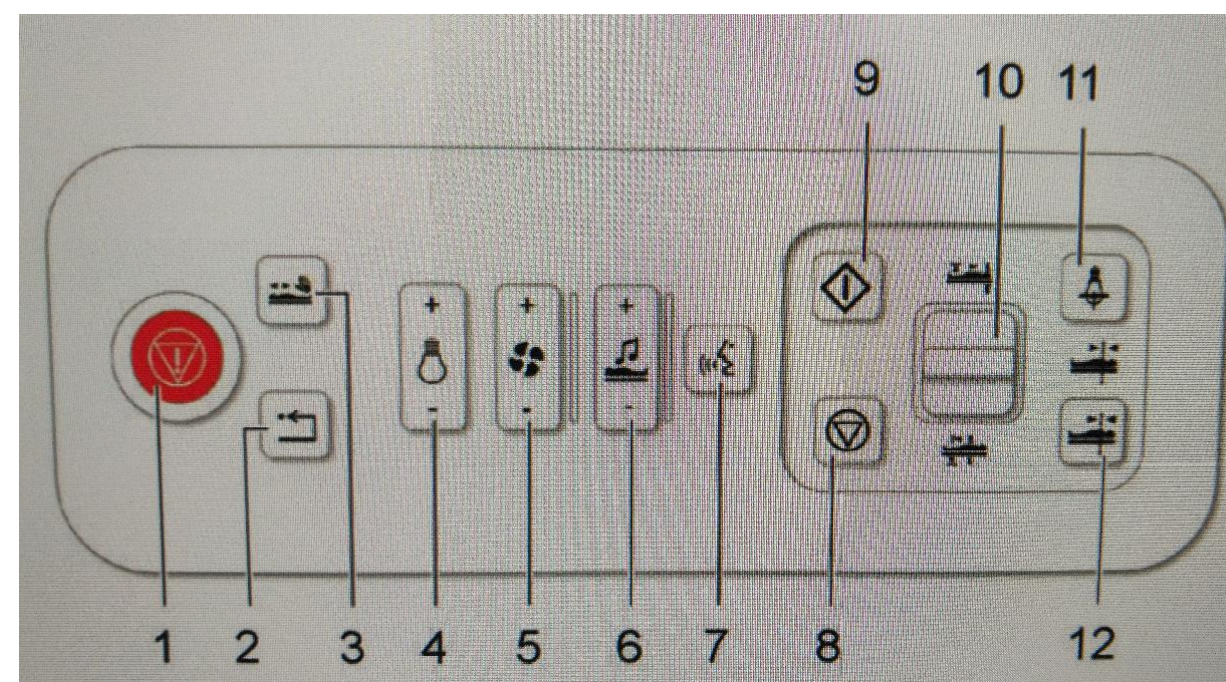


図9. パネル内のボタン・レバー配置模式図

- ・ 寝台の操作のためにボア入り口脇のパネル（図8,9参照）を使用する.
- ・ 撮像前後の手続きは以下の通り

1. 被験者のセッティング完了後、図9の番号10のレバーを上にあげて寝台をボアの高さまで上昇させる.
2. 同様にレバーを上にあげて被験者の頭部がボア入り口近辺に位置したところで止める.
3. 被験者に目を閉じてもらい、番号11のボタンを押して位置合わせのレーザー光を出す（ボタンを押す前に、被験者の目に光が入らないよう念のため、顔の上に手をかざしておく）
4. 被験者の前額部あたりにレーザー光の交点合うようにレバーを上下して位置調整し、番号12のボタンを押して位置を設定する
5. レバーを上にあげて、設定位置で自動停止するまで寝台を中に入れる（設定に失敗していると最奥まで寝台が移動し、スクリーンに接触する可能性があるので注意する：いつでも止められるように位置を見ながら行うこと。）停止したら被験者の安全を再確認し、撮像を開始する.
6. 撮像終了後、レバーを下に押し続けて寝台を外に出し、降下させる.
7. 実験終了後、寝台は上まで上げる（寝台の足元部分に排気孔があるため.図8参照）